

---

## 平成 28 年度 第 1 回 職能委員会

---

日時：場所：平成 28 年 4 月 21 日（木）18:30～20:15

場所：JIDA 事務局ギャラリースペース

出席者（敬称略）：安藤、内野、横田（部会長）、丸山、浅香、南木、堀越（委員長）

欠席連絡：国澤、吉田

---

### 1.今年度活動計画について

#### 1-1 契約と報酬ガイドの改訂

- 契約と報酬の冊子については、制作年も古く、CD-ROM 改訂版も出ているので、今後配布しない。10 部を残し残部は廃棄する。---事務局に指示。
- 部分的改訂に着手する。契約書より簡便な、発注書、覚書、電子契約といった例をあげるなど現状に配慮した小改訂とする。
- 今年度は改訂内容の洗い出しと詰めを行い、来年度、予算化しデータ化、CD-ROM 化を行う。
- 改訂作業は、作業部会など設けず、毎回の委員会で一定の時間を取り進める。
- 作業開始にあたり、現行の CD-ROM 版データを委員にメールで送るよう事務局に依頼。

#### 1-2 弁理士協会との共同事業

- 秋の東京国際包装技術展 TokyoPac2016 にどのようなカタチで出展するか。
- 弁理士会として単独で、あるいは「創作と保護」などのタイトルで JIDA と隣り合わせなど一緒に出展するか。
- 企画書を作成し、次回の弁理士会との研究会（5 月 9 日）で検討する。

### 2.クラウド型デザインについて

- コンペ形式、安い価格でデザインを募るクラウド型デザインのサイトが複数出てきている。こうしたビジネスモデルに対して、職能団体として公式見解を持つべきか。
- 分業化の加速、デザイン料金下落など実務面での影響と、これからデザイナーを目指そうとする学生に及ぼす影響があるのではないか。
- 本質論を踏まえた上で、現実的などころに落ち着かせる方向か。継続して討議。

### 3.報告事項

#### 3-1 JIDA マークの由来を JIDA サイトに載せる件

堀越のところまで止まっていて遅れているが、情報担当、塩田氏に内野委員が担当した原稿データと画像を送る。（文を再構成中）

#### 3-2 東京都中小企業振興公社“デザイン活用ガイド”の改定作業受託

- 改訂内容と予算について、3 回の打合せを持った。今回は日程と予算上の都合で事例部分の追加、差替え、表紙変更のみになる予定。
- 日本インダストリアルデザイナー協会の監修というかたちにしたいということで、職能委員会を委託先とした、契約書と作業依頼が来る段取りとなっている。
- 予算は 20 万円ほどだが、JIDA メールで事例提供者を募り、作業を進めたい。

\*次回日程：6 月 21 日（火）

記：2016. 4.28 堀越